

BECC JAPAN 2016

Behavior, Energy & Climate Change Conference

発表募集のお知らせ

BECC JAPAN 2016では、省エネルギー行動や環境配慮行動に関する研究成果や実証事例、アイデア等を公募いたします。大学、研究機関、企業等からの多数の研究発表をお待ちしております。

応募締切日

2016年

~~4月8日(金)~~

4月25日(月)まで

名称

BECC JAPAN 2016

(呼称：ベックジャパン 2016)

期間

2016年9月6日(火) 本会議

9月7日(水) 施設見学会

会場

9月6日 本会議

慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 (予定)

(東京都港区)

9月7日 施設見学会

未定

定員

9月6日 / 250名程度 9月7日 / 未定

参加費

早期割引 7/18 受付分まで

一般 18,000円 教育・研究機関 13,000円 学生 5,000円

通常料金 7/19 - 8/31 まで

一般 20,000円 教育・研究機関 15,000円 学生 7,000円

交流会参加費

別途 2,000円

参加申込

4月頃より開始予定

※これまでの開催実績等は省エネルギー行動研究会のWEBサイト (<http://seeb.jp/>) をご覧ください

発表形態

口頭発表 (発表20分+質疑応答5分) : 16~20本程度

ポスター発表 (最大で縦2000mm×横幅900mm) : 10本程度

ライトニングセッション (発表+質疑応答あわせて10分程度) : 5~10本程度

応募要領

下記の項目を省エネルギー行動研究会のWEBサイト (<http://seeb.jp/>) 上の発表募集フォームからご投稿下さい。

- ①発表者氏名 (日・英)
- ②発表者所属・部署・役職
- ③発表者連絡先
- ④発表タイトル (日・英)
- ⑤キーワード (5つ以内)
- ⑥発表形態 (口頭発表、ポスター発表、ライトニングセッション)
- ⑦発表内容要旨 (800文字以内)

※採択された発表は、発表用紙を参考に事務局でセッション分類を行います

主催 省エネルギー行動研究会

後援 (予定) : 経済産業省、環境省、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会 ほか

お問い合わせ先 省エネルギー行動研究会事務局 (株式会社 住環境計画研究所 内)

TEL.03-3234-1177 FAX.03-3234-2226 E-mail : [info\(at\)seeb.jp](mailto:info(at)seeb.jp) ※(at)は@に書き換えてください

担当 : 篠、齋藤、玄、平山

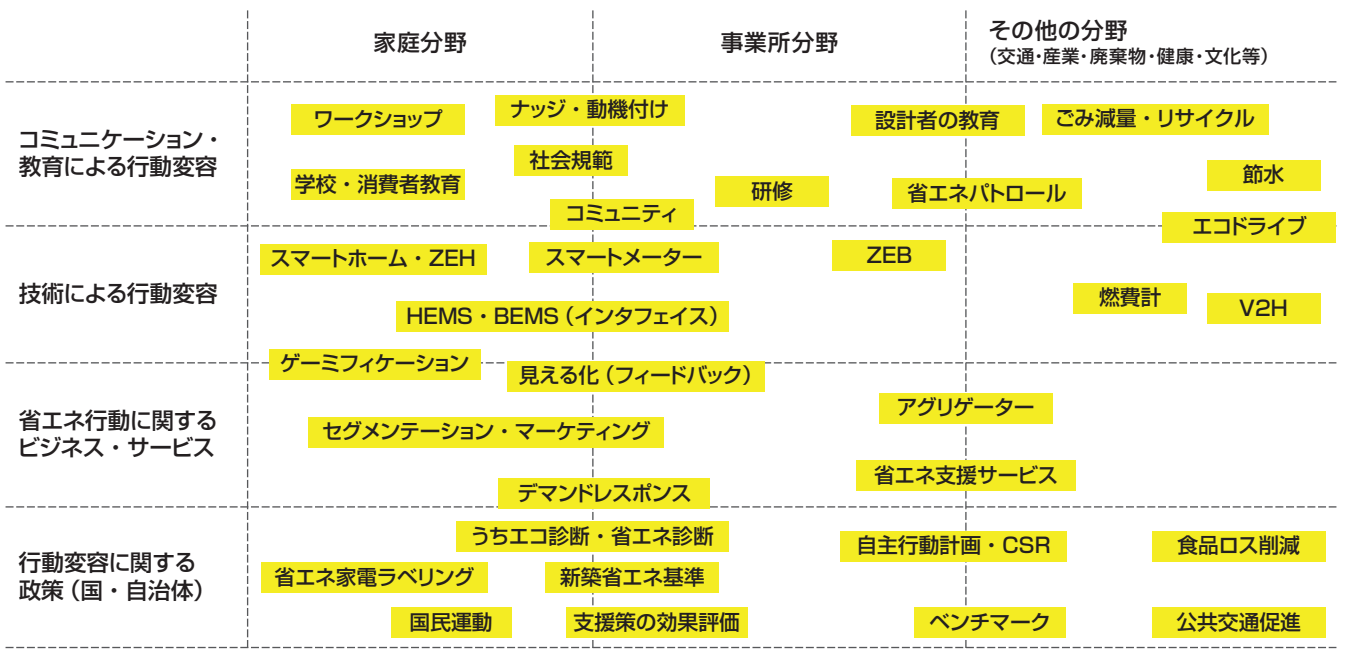
研究テーマの例

本コンファレンスでは、省エネルギーや地球環境保全に寄与する、人間の行動・意思決定に着目した研究発表を広く募集します。家庭分野や事業所分野を想定していますが、その他（交通・産業・ごみ／水）分野の有用な知見についても募集しています。以下の研究テーマの例をご参照ください。

表1 省エネ行動研究テーマの例

分野	分類	キーワード
家庭分野	コミュニケーション・教育による行動変容	社会規範、ナッジ・動機付け、学校・消費者教育、コミュニティにおける行動促進（ワークショップ、地域、学校、団地、SNS）
	技術による行動変容	HEMS実証事例、インタフェースデザイン、スマートホーム・ZEH、スマートメーター
	省エネ行動に関するビジネス・サービス事例	エネルギー消費の見える化（フィードバック）、需要家のセグメンテーション/マーケティング、デマンドレスポンス、ゲーミフィケーション
	行動変容に関する政策・施策（国・自治体）	省エネ家電ラベリング、うちエコ診断、低炭素社会構築に向けた国民運動
	エネルギー消費行動の理解	省エネに向けたエネルギー消費行動の把握、エネルギー消費行動に関する理論（認知、心理、慣習、快適感）
事業所分野	コミュニケーション・教育による行動変容	組織内における研修を通じた行動変容、省エネパトロール、建築設計者に対する教育、コミュニティにおける省エネルギー行動促進（社内の事業所間、業界内の企業間）
	技術による行動変容	BEMS 実証事例、ZEB
	省エネ行動に関するビジネス・サービス事例	デマンドレスポンス・アグリゲーター、省エネ支援サービス、エネルギー消費の見える化（フィードバック）
	行動変容に関する政策・施策（国・自治体）	省エネ診断、自主行動計画・CSRの効果、支援策の効果の評価、ベンチマークによる事業者の行動変容
その他（交通・産業・廃棄物・健康・文化等）分野の事例	コミュニケーション・教育による行動変容	ごみの減量・リサイクル、節水
	技術による行動変容	燃費計による行動変容、エコドライブ、V2H
	行動変容に関する政策・施策（国・自治体）	食品ロス削減、公共交通促進策

図1 省エネ行動研究テーマの例のマッピング



発表要旨・発表資料 (スライド) の取り扱い

本コンファレンスでは、①発表資料の公表・非公表を選択可能であること、②公表資料は会議当日の発表資料と一部異なるものでも構わないこと、の2点を前提として、原則として会議終了後に発表資料を省エネルギー行動研究会WEBサイトで公開 (PDFファイルにて) させていただきます。上記の点を発表資料作成の際ご考慮いただけますと幸いです。